

Formsでスタディークラスマッチ

【内容】三島東中学校の学習に対しての1つの取り組みとする
クラス対抗「スタディークラスマッチ」を、Formsを使って行った。

【使用アプリ】 Forms

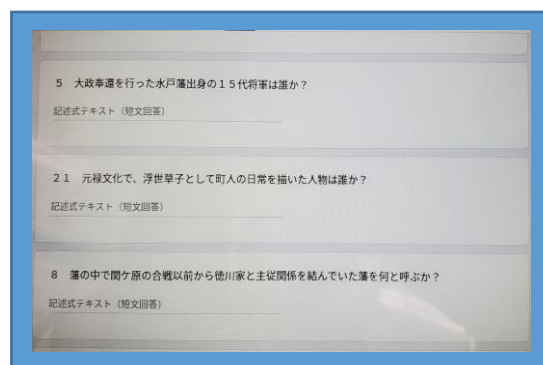
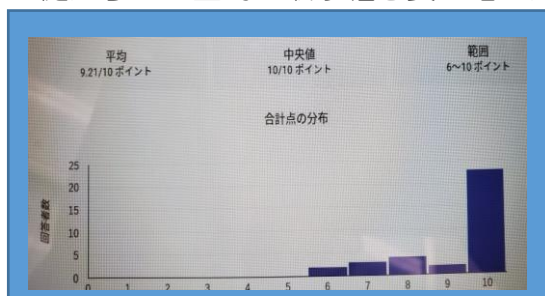
【事例紹介】

- テスト直前に教科を振り分け、30問の中から10問のテストを紙媒体でなく、デジタル化することで正答率UP。
- デジタル化することで採点の効率化と仕事軽減
- 学級で正答率を競うことで生徒たちの反復練習により、学力UP。
- クラスマッチの内容をテストにも出題して、できる喜び。



【取り組んでみて感じたこと】

- ・深い学びにはならないが、覚えるべき内容についてはモチベーション作りとなる。
- ・CBT化することで教科担任や学級担任の負担を減らすことができた。
- ・生徒たちが自主的に取り組む姿が増えた。



＊情報担当のつぶやき＊

デジタル機器を活用して、仕事の効率化が見られた。使用のメリットもデメリットもあったが、様々な活動にICTを使用することで新たな視点で教育に望めると思う。

☆教育委員会主幹講評☆ 中学校において、学力向上に向けた一つの取組として「スタディークラスマッチ」を実施している学校があります。問題を繰り返し解くことで、基礎的・基本的な知識の習得という点で効果が見られています。しかし、採点や集計等で教員の負担増になっているのも事実でした。今回はこの「スタディークラスマッチ」をFormsを使って実践し、教科担任や学級担任の負担軽減を図ることができた報告でした。学校のテストやアンケートをデジタルで作成する際、Formsを使用すると、誰でも短時間で簡単に作成することが可能となっています。回収したデータは、リアルタイムでスプレッドシートに収集されるため、自動集計し、棒グラフや円グラフなど用途に応じてより効率的な結果の分析が瞬時に実現できます。Formsは、ICTに不慣れな方でもスムーズに作成することが可能ですので、各校において有効活用することで、業務負担の軽減を進めていただきたいと思います。